

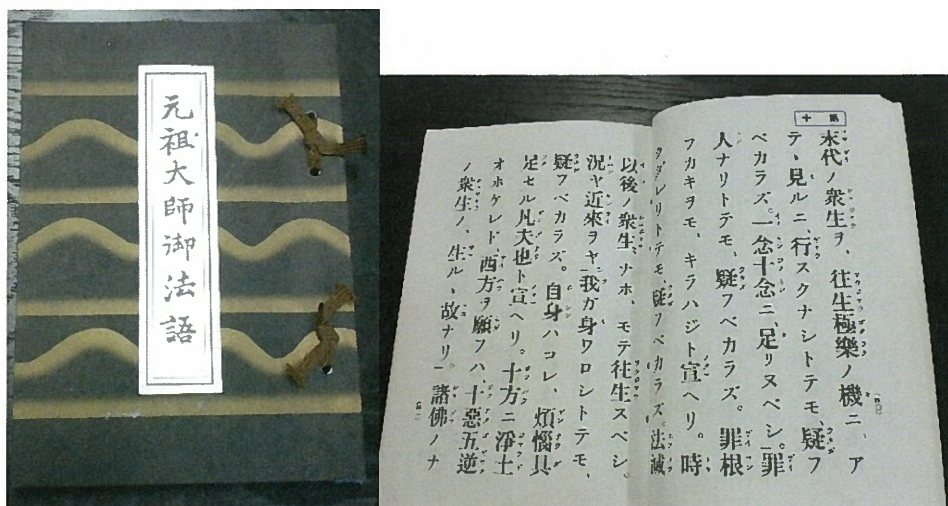
平成27年9月19日（土）の「仏教女性の集い」

連休の初日です。今日のような爽やかな陽射しの中にいますと、不思議と穏やかな気持ちになっていきます。

今日も大勢の方に参加いただき盛況の中に会は進んでいきました。今日の「集い」では受講生の希望により「元祖大師御法語」の中から「第10章、小消息」を再度、読み下し・解説していただきました。

いろいろな機会や手紙などの中で、法然上人はお念仏の優れていることや大切さを説かれています。そのようなお話を聞くたびに、私達は、頭ではわかったような気になっている阿弥陀様の心。でも実際には大きすぎて全然わかっていないなと思うのです。

近藤先生も度々おっしゃっています。「最初はわからないことも聞き続けていると自然とわかってきます」本当にその通りで、何もわからなかった最初は途方にくれることが多かったのですが、お念仏の大切さが少しずつわかってきて自然と口をついて出てくることも多くなってきました。常に何かと解釈したがる「私」がいますが、ただ心の感じるがままに接するのが一番いいのかなと感じている今日この頃です。





お菓子のご銘は「月見団子」



先生方と一緒に美味しいお菓子とお抹茶を頂いて、いつものように座談会が始まりました。今回も新しく参加者があり、大勢の方々と賑やかに会話は弾みました。東京で河波 昌先生の「仏教塾」で学ばれた方が先生の紹介で参加されました。和やかな座談会の中で、近藤先生から「自分と言うものをどのように思っていますか？『自覚』自分で自分を知る。相手を相手と見るのではなく、相手も自分であると思う事。仏教とは、自分の事であると気づく事です」
凄く難しい言葉でした。

帰り道、ふと頭に浮かんできたのは、第19番 京都法然寺の御詠歌です。

「ただ頼め よろずの罪は 深くとも わが本願の あらん限りは」

(参加者感想 K. I)

次回の「仏教女性の集い」は平成27年10月17日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費 1,000円 宗教・宗派は問いません。

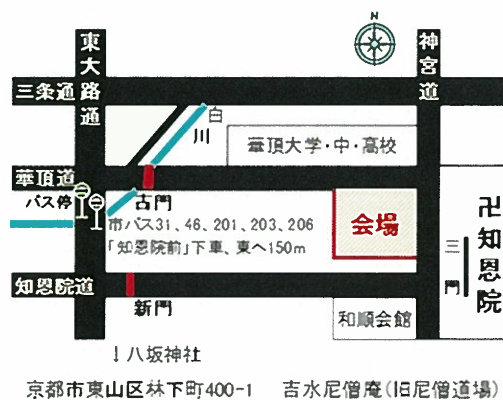
条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m

『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場跡）で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。